なし（四月下旬開花）ガ半野生ノ狀態ヲナシテ居リ又丘陵地ニハゆすらうめ（Prunus tomentosa Thunb.）（四月中旬開花）ヤこにはざくら（Prunus humilis Bunge.）（五月上旬開花）ガ野生シテ居ル、樹木ノ少ナイ殆ンド裸ノ滿洲ノ丘陵ヤ溪谷ノ春ハ此等ノ樹々ニヨッテ美ハシク彩ラルヽノデアル、前頁ニ掲グル寫眞ハ野生ノゆすらうめデ大連附近ノ地ニ生ジテ居ルノヲ撮影シタモノデアル

日本ノ内地ニハゆすらうめノ野生ハナク唯栽植セラレテアルノミデアル、之レヲ櫻桃トスルノハ固ヨリ誤リデアッタ、ゆすらハ朝鮮語デ元來同屬中ノ別ノ植物ノ名デアル

○うばゆりトおほうばゆり

久内清孝

米國アーノルド樹木園ノエルネスト、ウィルソン氏ノ近著『東亞ノ百合』ヲ見ルトうばゆりトおほうばゆりトヲ一括シテ一種トナシ且ツ此迄通リ Lilium 屬ニ入レテ居ル

元來うばゆりトおほうばゆりトハ曩ニ牧野氏ガゆり屬ト分離シテ Cardiocrinum ナル新屬ヲ設定シ之レニ配屬セシメタモノデコノ兩種ハ截然區別シ得ラレ前者ヲ C. cordatum Makino. 後者ヲ C. Glehni Makino. トセラレタルハ既知ノ事實ニ屬スル而シテおほうばゆりハ全形壯大、葉狀短圓、花ハ前者ニ比シ小且ツ多數デアル、サレバコノ二者ハ明カニ兩分シ得ラルヽモノデウィルソン氏ノ說ノ如ク固ヨリ混同スベキモノニアラザルヤ明カナルニ氏ハ其異同ヲ辯ズルコト能ハザリシモノト見エ汎然ト此等ヲ一種トシタ、吾人ハ氏ガ何程ノ理由ニ基キ斯ク爲セシカヲ怪ミウ氏ノ爲スガ如ク自國語ニテ遠吠ヲ試ムルコト如此ダ、ソシテ玆ニおほうばゆりノ寫眞圖ヲ掲ゲ置ク是レハ相州箱根山デ撮影シタモノデアル、此種ハ花ガ澤山著イテ稍小サク葉ハ闊大デ圓イ

西洋ノ學者ハ久シキ以前カラおほうばゆりヲうばゆりト思違ヒヲシテ居リ今日デモ尙其非ヲ悟ラザルコト前述

うばゆりモ共ニ地下ノ鱗片カラ白色上等ノ澱粉ガ取レル、おほうばゆりノハ生ノマヽ採テ食用ニスル所カラ地方ニヨッテハ山かぶ或ハ山かぶらノ方言ガアル

○極メテ珍ラシキしろばなとうごくみつばつゝじ

函嶺住　澤田武太郎

相模國箱根山宮城野村ニ於テ呼ブニやまむらト俗稱スルつゝじ屬(Rhododendron)植物ガアル私ガ之レニ就テ

(相州箱根山ニテ撮影)

おほうばゆり Cardiocrinum Glehni (Fr. Schmidt) Makino.

ノ如クデアル抑モ本當ノうばゆりヲ始メ疾ク圖ニシタノハケンフェル氏(後1791年ニバンクス氏ガ之ヲ公ニシタ)デ次デ其完全ナ圖說ヲ公ニシタノハシーボルト、ツッカリニノ兩氏(1835)デアルカーチス氏ノ『ボタニカル、マガジン』(1878)並ニエルウェス氏ノ『百合全志』(1880)ノモノハ共ニうばゆりの學名ヲ伴フタおほうばゆりデアル

うばゆりハ姥ゆりノ意味デソレハ花ノ咲クトキ己ニ葉ガ枯レテナイカラサウ云フトノコトデアルガ然シ花ノ時尚葉ノアルコトガ却テ普通デアル、うばゆりモおほ